

舞 打

なかやまだいこたいけん 中山太鼓体験

2013年8月24日(土)

9:00~12:00

なかやまだいこほぞんかい
共催：中山太鼓保存会

おくやはぎしんりんじゅく
奥矢作森林塾

- 場所：^{くしはら}串原小中学校体育館
(岐阜県恵那市串原4083-2)
- 対象：5歳以上※の太鼓に興味のある方。
初心者歓迎！！

※小学生以下のお子様は保護者の方とご参加下さい。

- 定員：30人(最小催行人数10人)
- 料金：大人ひとり1000円/
小学生以下ひとり500円
- 持物：動きやすい服装、タオル

- お申込み・お問合せ：

NPO法人 奥矢作森林塾
〒509-7814 岐阜県恵那市串原 1149-2
奥矢作レクリエーションセンター内事務局
TEL/ FAX: 0573-52-2411
Eメール: info@shinrinj.enat.jp
ホームページ: http://shinrinj.enat.jp

※開催日の2日前までにお申し込み下さい。

※詳しくは、裏面をご覧ください→

中山太鼓とは…

なかがま だいこ
 岐阜県恵那市串原の総氏神、中山神本社に
 古くから奉納され伝わる神楽太鼓です。
 「岐阜県重要無形民俗文化財」に指定されて
 いるこの太鼓は、毎年10月第3日曜日の列大祭に、
 花馬とともに奉納されます。ときにはゆったりと、
 ときには激しく打ち鳴らし、五穀豊饒、無病
 息災を祈願します。

戦国時代に起源をもつこの太鼓は、天正2年、
 甲斐の武田勝頼が美濃へ侵攻したとき、これを
 迎え討った織田方(遠山氏)串原勢の武士達が士気
 の鼓舞と武運を祈願するため、太鼓を挙げて
 打ち破るまで打ち、締太鼓を火で浄めた矢を折れ
 尽きるまで打ったと伝えられています。

その伝統は今も、茶に似た「すりこ木」状のバチ、
 締太鼓には矢に似せ、火で浄めた竹のバチという、
 独特のスタイルの中に残されています。

中山太鼓保存会とは…

昭和52年(1977年)、串原では、矢作ダム建設
 日本経済の高度成長による若者の都市流出など
 人口の減少がすみ、担手不足におお文化継承の危機
 がおとすれていました。そんな時勢の中、村では、
 郷土の文化を守り育てゆこうという機運が高まり、
 「文化財保護条例」が制定されました。

中山太鼓もまた、その清澄な響きを後世に守り
 引き継いでいきたいとの願いから、村民に呼びかけ、
 当時の村長が会長となり 保存会が設立され、
 村内の6組の打ち囃子組の中から、5曲が選定され、
 その保存の為の活動がはじまりました。

活動は日本全国、国外はマレーシアまでおこなっています。
 日本各地の太鼓団体との交流も深く、最近では、
 6色を超えた色とりどりのハッピーが入り乱れ打ち回す
 神囃子が中山太鼓の新たな魅力となっています。

◎中山太鼓保存会 TEL/0573-52-2111

KUSHIHARA GUIDE MAP

